



一般質問

遠藤 英樹 議員

子ども手当の事務執行は問題ないか

「関係機関と連携をとり慎重に対応」



議員 今月から子ども手当の支給が始まった。外国人への支給問題や親のない子どもたちへの不支給の問題など、さまざまな問題を抱えたままの見切り発車との印象をぬぐえない。ゆえに実際の支給事務を担当する自治体では混乱が予想される。以下の点について対応はどうか。

①申請の遅れた世帯、②外国人の監護等の事実確認、③児童虐待の疑念のある場合、④別居夫婦の重複支給防止、⑤離婚夫婦の重複支給防止、⑥公務員との重複支給防止、⑦安心子ども基金からの支給との重複防止。



議場の説明に真剣に耳を傾ける子どもたち

①申請の遅れた世帯、②外国人の監護等の事実確認、③児童虐待の疑念のある場合、④別居夫婦の重複支給防止、⑤離婚夫婦の重複支給防止、⑥公務員との重複支給防止、⑦安心子ども基金からの支給との重複防止。

る。②③確認を要する事例があった場合には埼玉県、厚生労働省等の関係機関と協議して慎重に対応する。④⑤提出資料を確認し、重複支給防止に努める。

自治基本条例の策定状況は

議員 現状はどの程度まで作業が進んでいるか。また、議会でも勉

境美化に貢献した。

歩行喫煙対策は戦略的に

議員 ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例の施行から2年経過したが、成果は何か。

議員 アンケート調査、定点観測など、経年比較して戦略的で確かによくなったとわかるような取り組みを。

埼玉県からの権限移譲を進めよ

「全項目の受け入れを目指す」



議員 県は権限と財源の移譲を進める方針を策定し、二重行政の解消や人的支援、財政支援を行って

いる。本市の権限移譲状況は、県の示す移譲可能な事務のうち16事業が移譲していない状況。早急に移譲して、住民に身近な行政、自立した戸田市を目指す

議員 いつまでに行うという期限はどうか。
総務部長 ご指摘の5項目については、来年4月を目標に取り組み。

議員生活部長 駅を利用する市民に直接呼びかける「1万人へのマナーアップ周知大作戦」を3日間行い、ポスターコンクールの実施など啓発に努め、環

議員生活部長 PDCAという考え方を持って取り組んでいきたい。また、アンケートの調査も検討したい。



▲駅頭のマナーアップキャンペーン

齊藤 直子 議員

今後の高齢者施設整備計画は

「10年間に特養2棟を整備する」



議員 特養2棟の整備を目標。1棟目は新曽南の給食センターを平成23年度に解体し、24年度着工、25年度後半開設。2棟目は軽費老人ホームを26年度解体、法人公募し28年度着工、29年度後半開設予定。また、民間による有料老人ホームとグループホームが22年度中に1棟ずつ開設予定。その他、市に事前相談が有料老人ホーム2棟、グルー

議員 特養は、医療依存度の高い高齢者が入所を断られる事態が生じている。どのようなサービスを提供する施設を考えているか。

議員 特養は、医療依存度の高い高齢者が入所を断られる事態が生じている。どのようなサービスを提供する施設を考えているか。

議員 周知を図るためは、県からの補助金から「民設・民営」を



▲待機者の解消を目指して新たな特養建設計画が

予定。居室の形態を従来型多床室、ユニット型、混合個室が検討段階。併設するサービスも、ショートステイ、デイサービスセンター、ケアハウスを中心に「終の棲家」のあり方として、行政関係機関、介護サービス関係者等の現場の声に耳を傾け、介護と医療のかかわりに配慮できるよう検討する。

車道のかさ上げで歩道との段差縮小を

「民地の状況を見て縮小につとめる」



議員 本市の道路のうち、歩道は他に比べて整備は進んでいると思う。その上で①歩道が車道面より

議員 高いマウントアップ型は、歩車道段差を縮小し、バリアフリー化が求められている。今後は車道をかさ上げする方法を進めてはどうか。②車止めのガードポー

議員 違法駐車を防止するためであるが、歩行には障害である。今後は、設置しないことを原則に、必要不可欠な箇所だけにしておくか。



▶歩道を狭くしているガードポール

議員 図書館は通常のカテゴリから一歩進めて、闘病記や身体部位別の医療関連本や子育て支援書など、テーマ別に集約したコーナー

闘病記などの集約展示を

議員 図書館は通常のカテゴリから一歩進めて、闘病記や身体部位別の医療関連本や子育て支援書など、テーマ別に集約したコーナー

議員 図書館は通常のカテゴリから一歩進めて、闘病記や身体部位別の医療関連本や子育て支援書など、テーマ別に集約したコーナー

議員 図書館は通常のカテゴリから一歩進めて、闘病記や身体部位別の医療関連本や子育て支援書など、テーマ別に集約したコーナー